

# 株式会社 ユーシン精機

## 2019年3月期 第2四半期

# 決算説明会

代表取締役社長 小谷 眞由美

2018年11月6日

東証第一部 証券コード6482

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

# 会社概要

社名	株式会社ユーシン精機
代表者	代表取締役社長 小谷 眞由美
設立	1973年10月
資本金	19億8,566万円
社員数	689人 (2018年9月末現在、連結)
連結売上高	208億円 (2018年3月期)
上場	東証第一部
証券コード	6482
売買単位	100株



# 商品ラインアップ (1)

## 取出口ロボット

**FRAシリーズ**  
 <横走行タイプ>



**HSAシリーズ**  
 <横走行タイプ>



**HSTシリーズ**  
 <横走行タイプ>



**RCシリーズ**  
 <横走行タイプ>



**YCシリーズ**  
 <横走行タイプ>



**TSXAシリーズ**  
 <サイドエントリータイプ>



**SCシリーズ**  
 <横走行タイプ>



**ATCシリーズ**  
 <横走行タイプ>



**HOPシリーズ**  
 <スイングタイプ>



売上構成比



7,690百万円

2019年3月期  
 第2四半期

# 商品ラインアップ (2)

## 特注機

フレキシブル  
モジュールストッカ



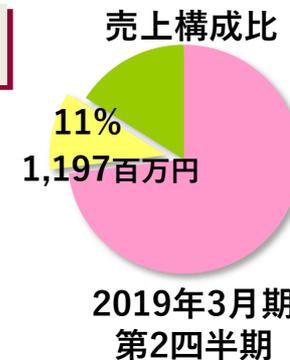
インモールド装置



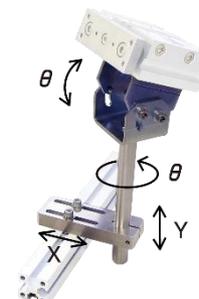
ゲートカット  
システム



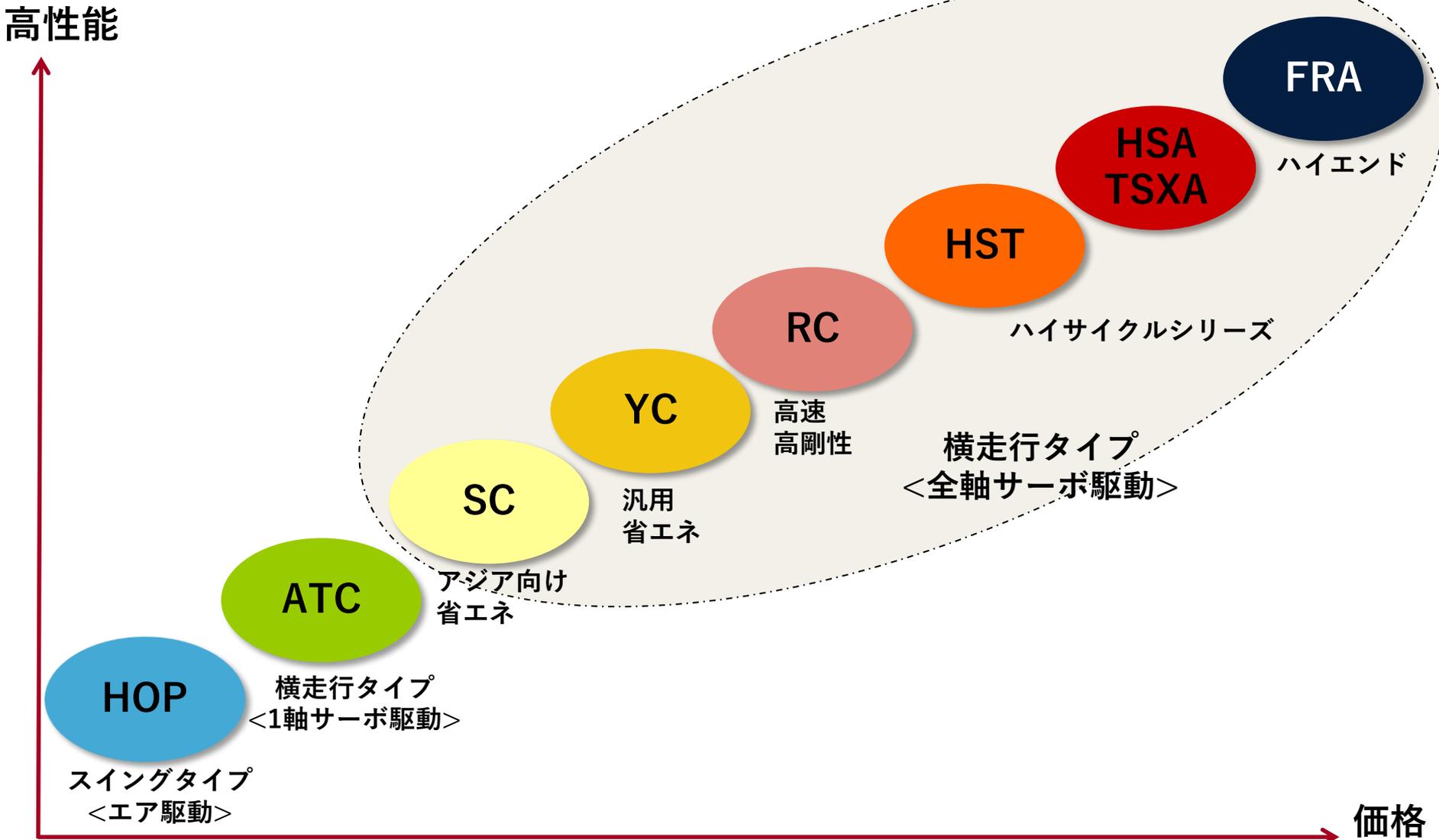
パレタイジング  
ロボット



## 部品・保守サービス



# 取出口ボットの性能と価格



# 当社の特長

## 理念・方針

- ユーザの要望に応える高品質なものづくり
- 新規事業分野への挑戦

## グローバル展開

- 海外売上比率の高さ
- 業界一のグローバルな拠点網とサポート体制

## 顧客からの支持

- 営業、サービスのレスポンスの良さ
- 業界をリードする技術力と納期厳守による信用力

## 安定した 財務体質

- 設備を最小限にしたファブレス経営
- 無借金経営・自己資本比率の高さ

業界シェアNo.1

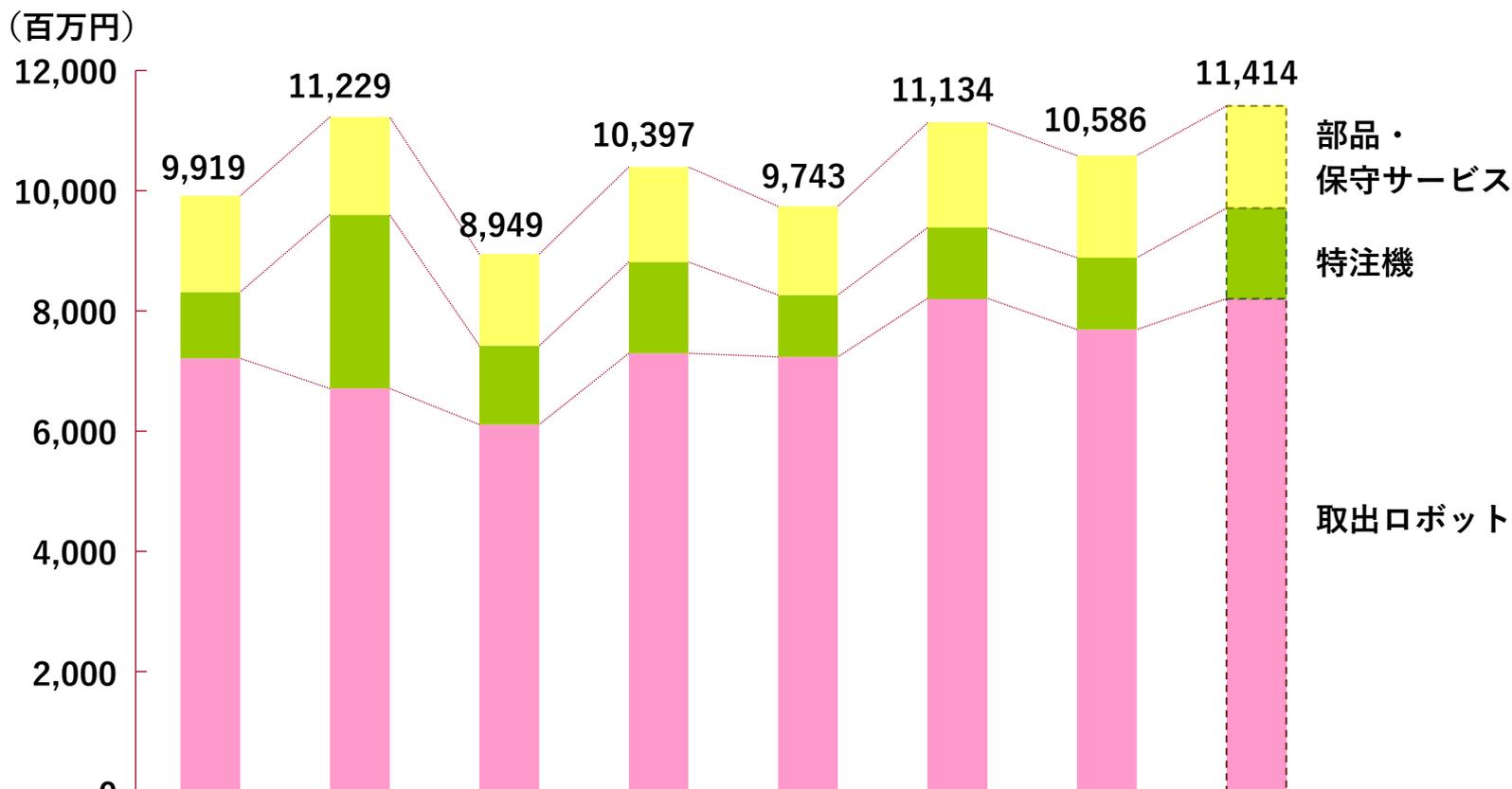
# 2019年3月期上期実績と通期予想

	2019/3上期(実績)			2019/3通期(予想)		
	金額	比率	伸び率*	金額	比率	伸び率*
売上高	百万円 10,586	% 100.0	% 8.7	百万円 22,000	% 100.0	% 5.4
売上総利益	4,149	39.2	3.0	8,860	40.3	4.7
営業利益	1,203	11.4	21.5	2,600	11.8	10.2
経常利益	1,228	11.6	18.2	2,600	11.8	6.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	861	8.1	15.6	1,800	8.2	10.6
			*対前年上期増減率			*対前年通期増減率
<為替レート> 米ドル		110.26円			105.00円	
英ポンド		146.91円			148.00円	
人民元		16.75円			17.00円	

# 上期実績の要因、通期予想の前提

	2019/3上期(実績)	2019/3通期(予想)
売上高	<p>▶ 前年同期比8.7%増の10,586百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取出口ロボットは前期比 6.2%増           <ul style="list-style-type: none"> <li>- 国内、東南アジア、北米が堅調に推移</li> <li>- 自動車関係が堅調</li> </ul> </li> <li>・ 特注機は前期比 16.3%増           <ul style="list-style-type: none"> <li>- 医療向けが増加</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取出口ロボットは前期比3%増           <ul style="list-style-type: none"> <li>- FRAシリーズの拡販</li> <li>- アジアと日本国内に期待</li> <li>- 自動車関係に期待</li> </ul> </li> <li>・ 特注機は前期比 22%増           <ul style="list-style-type: none"> <li>- 医療向け特注機の出荷</li> <li>- 国内外で自動化ニーズ増加</li> </ul> </li> </ul>
営業利益	<p>▶ 前年同期比21.5%増の1,203百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 減価償却費の減少</li> <li>・ 研究開発費の平準化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主力取出口ロボット販売数量の増加</li> <li>・ 働き方改革による効率化と生産性アップ</li> <li>・ 継続的なコストダウンによる収益性向上</li> </ul>

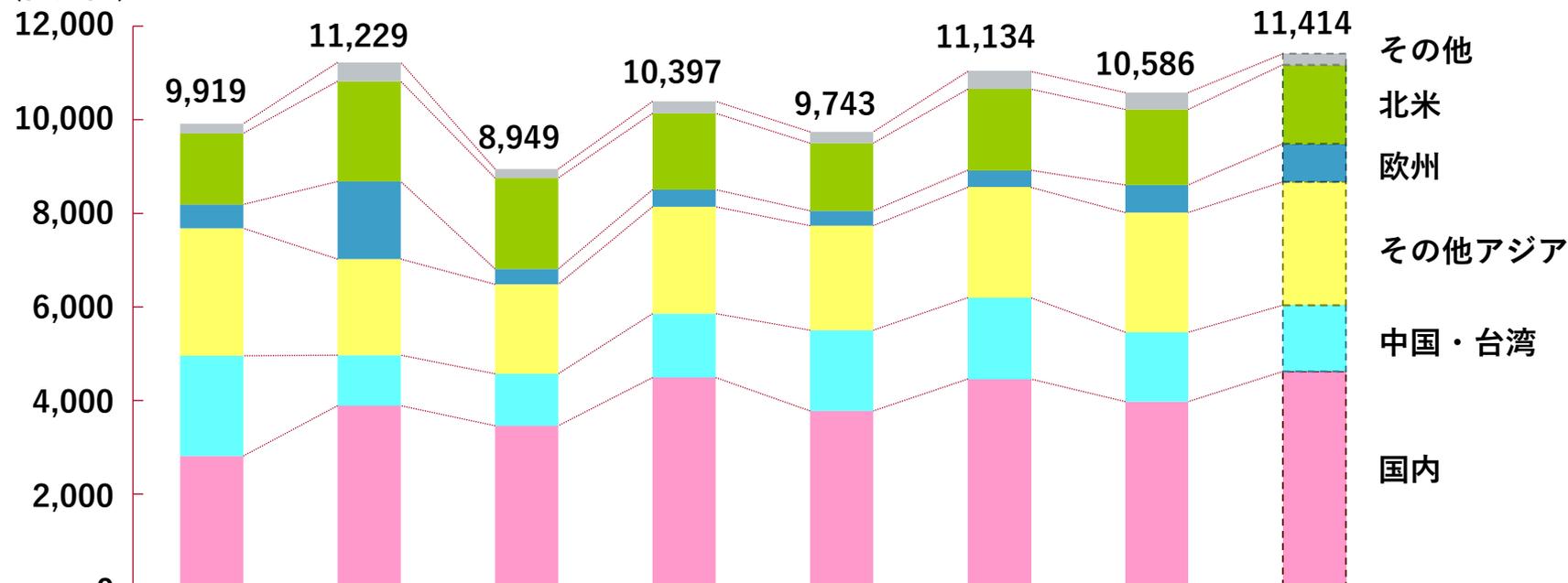
# 品目別売上高(半期毎)



	'15/9	'16/3	'16/9	'17/3	'17/9	'18/3	'18/9	'19/3(予)	'19/3通期(予)
■ 部品・保守サービス	1,601	1,626	1,523	1,579	1,475	1,748	1,698	1,702	3,400
■ 特注機	1,106	2,890	1,313	1,519	1,029	1,175	1,197	1,502	2,700
■ 取出口ロボット	7,211	6,711	6,111	7,298	7,239	8,210	7,690	8,209	15,900
合計	9,919	11,229	8,949	10,397	9,743	11,134	10,586	11,414	
通期合計		21,148		19,346		20,878		22,000	9

# 地域別売上高(半期毎)

(百万円)



	'15/9	'16/3	'16/9	'17/3	'17/9	'18/3	'18/9	'19/3(予)	'19/3通期(予)
■ その他	203	406	188	257	242	378	364	235	600
■ 北米	1,524	2,141	1,946	1,627	1,442	1,729	1,610	1,689	3,300
■ 欧州	506	1,657	326	366	317	369	589	810	1,400
■ その他アジア	2,728	2,053	1,911	2,288	2,234	2,359	2,561	2,638	5,200
■ 中国・台湾	2,139	1,081	1,111	1,365	1,730	1,737	1,480	1,419	2,900
■ 国内	2,817	3,890	3,463	4,491	3,775	4,559	3,979	4,620	8,600
合計	9,919	11,229	8,949	10,397	9,743	11,134	10,586	11,414	

21,148

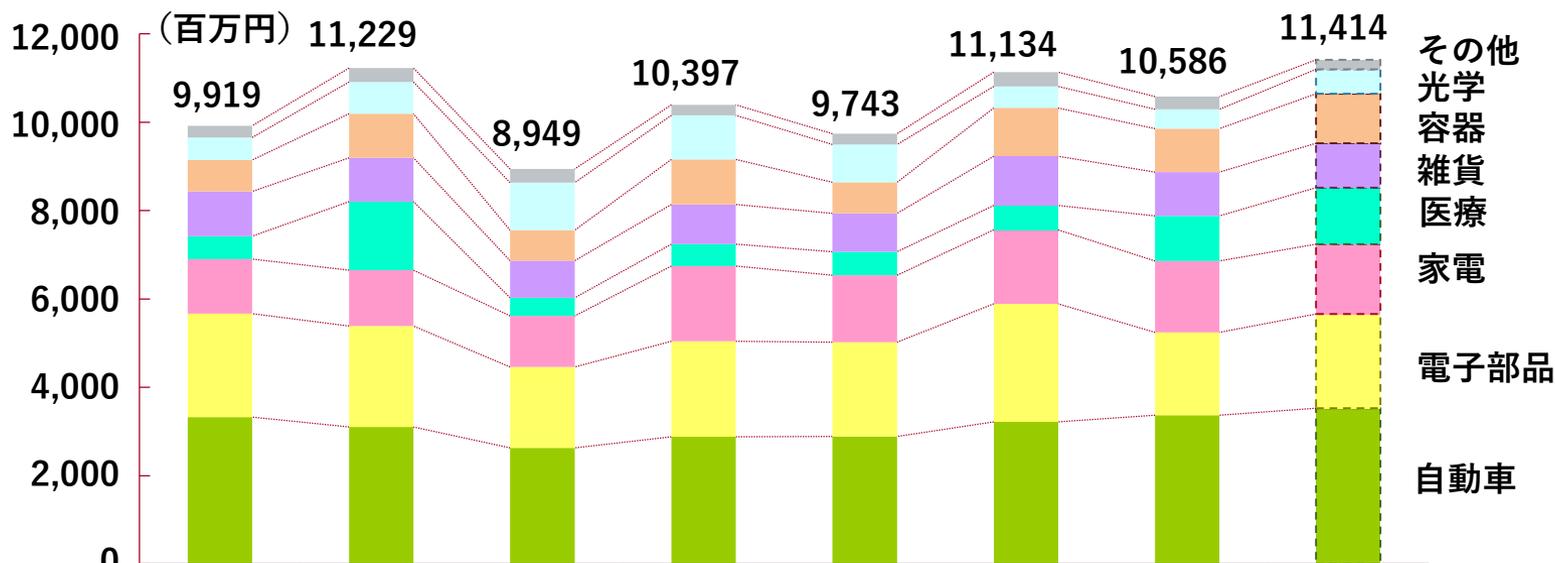
19,346

20,878

22,000

10

# 業種別売上高(半期毎)



	'15/9	'16/3	'16/9	'17/3	'17/9	'18/3	'18/9	'19/3(予)	'19/3通期(予)
■ その他	265	315	314	234	245	320	286	213	500
■ 光学	510	722	1,072	999	855	487	444	555	1,000
■ 容器(食品・化粧品等)	715	993	696	1,019	703	1,095	980	1,119	2,100
■ 雑貨(家具・コンテナ等)	1,010	992	836	904	867	1,114	995	1,004	2,000
■ 医療	518	1,511	413	489	535	552	1,018	1,281	2,300
■ 家電(AV含む)	1,234	1,263	1,156	1,705	1,516	1,670	1,619	1,580	3,200
■ 電子部品	2,345	2,284	1,830	2,161	2,129	2,677	1,868	2,131	4,000
■ 自動車	3,322	3,106	2,628	2,882	2,890	3,216	3,372	3,527	6,900
合計	9,919	11,229	8,949	10,397	9,743	11,134	10,586	11,414	

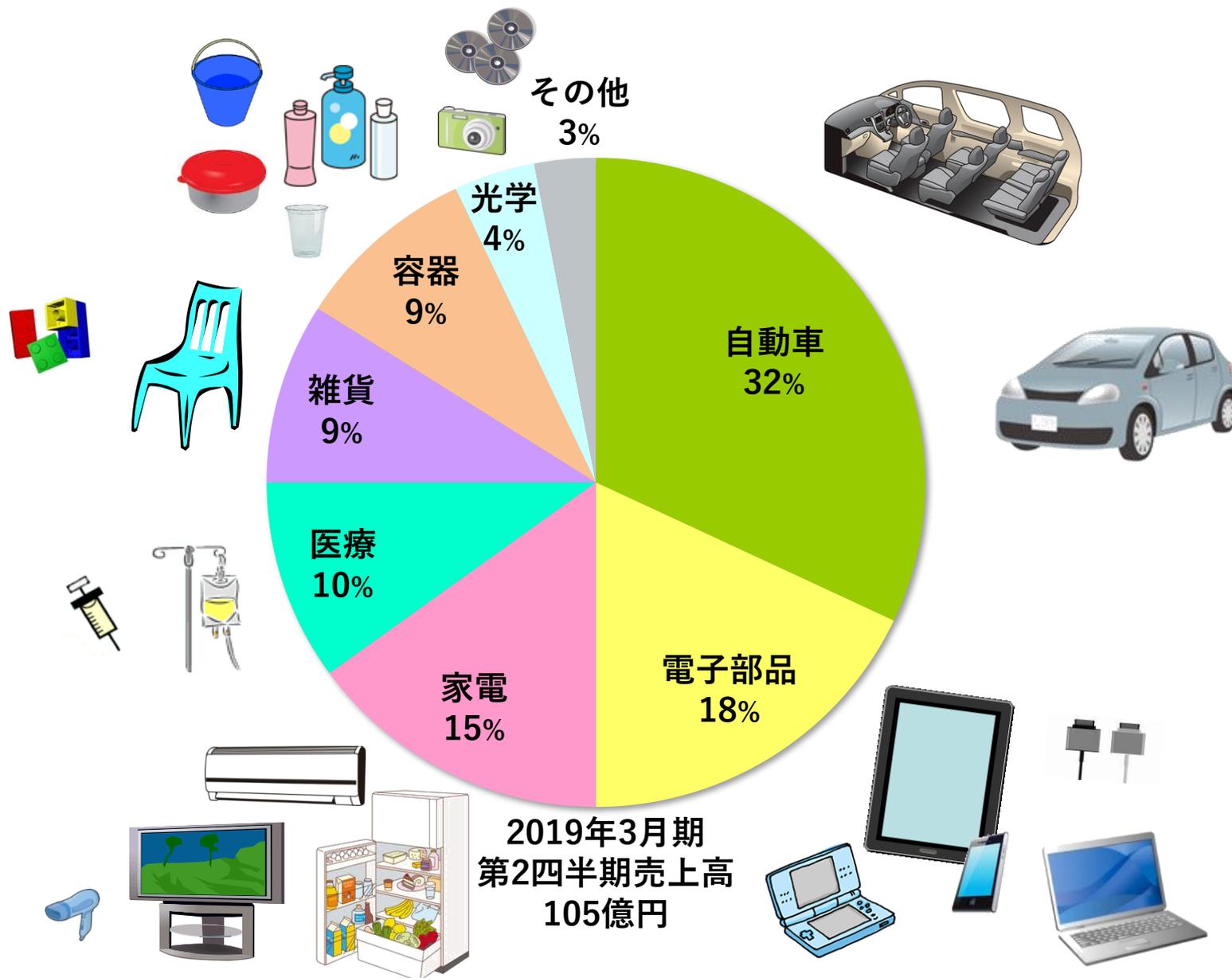
21,148

19,346

20,878

22,000

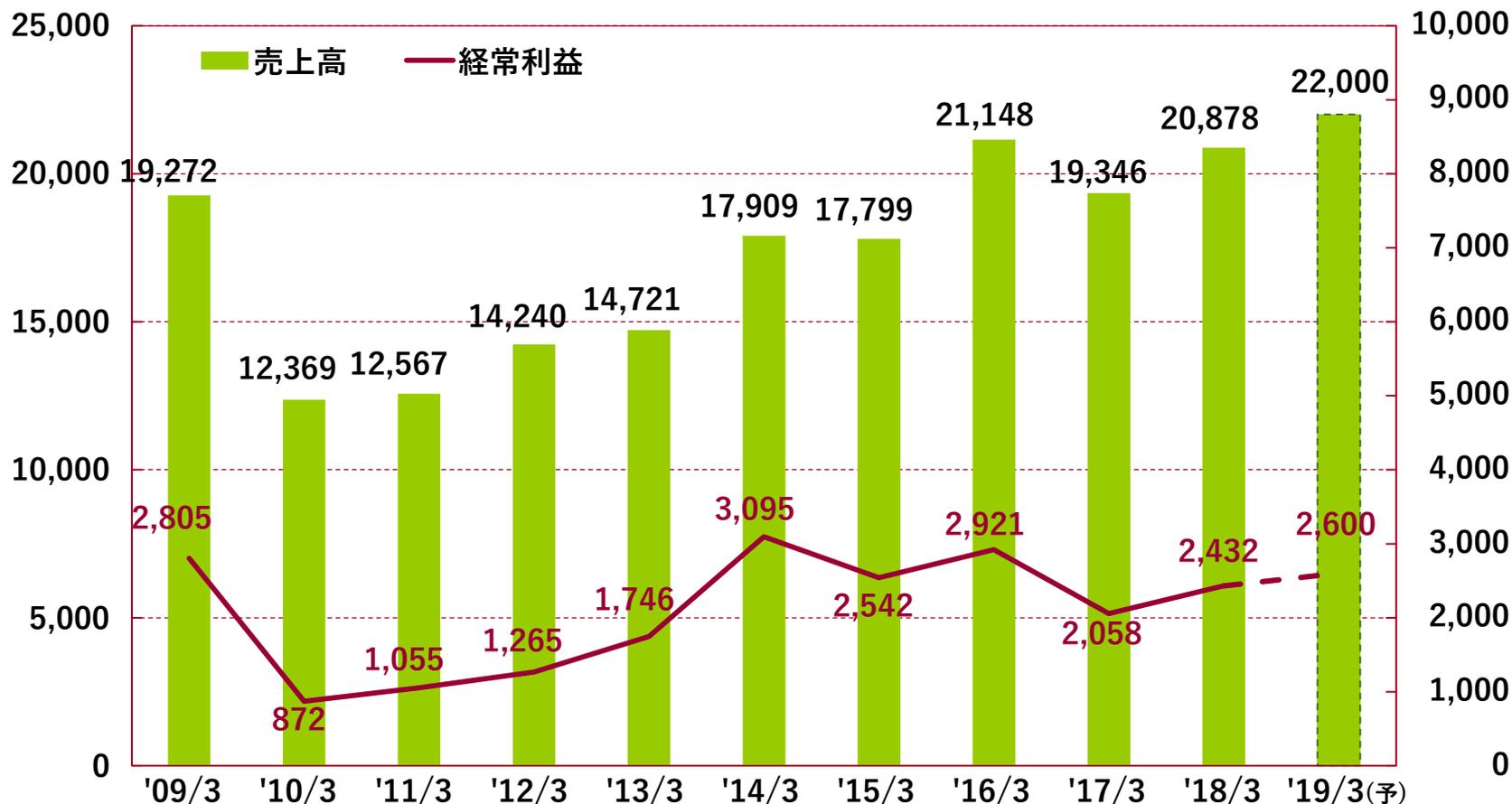
# 業種別売上高構成



## 業績の推移

売上高 (百万円)

経常利益 (百万円)

経常利益率  
(%)

14.6

7.1

8.4

8.9

11.9

17.3

14.3

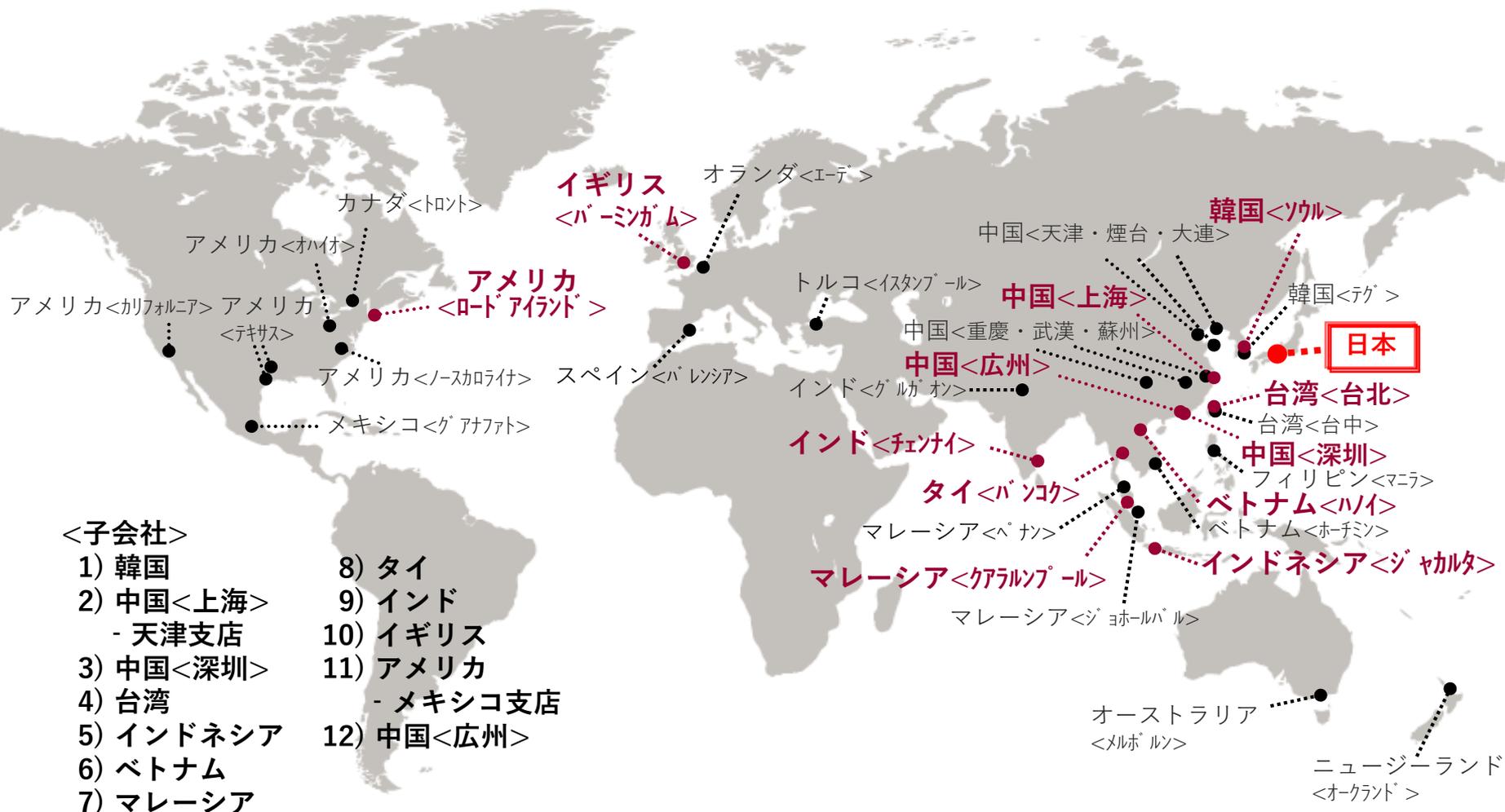
13.8

10.6

11.6

11.8

# グローバルネットワーク



<子会社>

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1) 韓国               | 8) タイ                |
| 2) 中国<上海><br>- 天津支店 | 9) インド               |
| 3) 中国<深圳>           | 10) イギリス             |
| 4) 台湾               | 11) アメリカ<br>- メキシコ支店 |
| 5) インドネシア           | 12) 中国<広州>           |
| 6) ベトナム             |                      |
| 7) マレーシア            |                      |

<駐在員事務所>

- 1) フィリピン

- ..... 子会社
- ..... 支店、駐在員事務所、サービス拠点、代理店

# 子会社の業績推移

(百万円)

国名	設立時期	出資比率	2017/3			2018/3			2019/3 (予算)		
			売上高	営業利益	当期利益	売上高	営業利益	当期利益	売上高	営業利益	当期利益
韓国	2000.10	100.0%	1,788	202	166	1,615	213	164	1,760	162	126
中国 (上海)	2007.2	100.0%	885	20	19	1,451	75	50	1,105	26	20
中国 (深圳)	2004.4	100.0%	805	31	21	914	42	30	953	47	36
台湾	2001.7	100.0%	72	5	△2	92	19	16	92	16	14
インドネシア	2012.11	99.0%	258	38	27	286	34	22	309	42	26
ベトナム	2014.2	100.0%	90	14	11	95	12	11	106	24	19
マレーシア	2001.5	100.0%	209	16	8	236	24	23	256	23	17
タイ	2001.8	49.0%	640	66	57	850	109	97	847	84	68
インド	2007.8	95.0%	35	0	△1	53	7	3	50	1	1
イギリス	2004.3	95.6%	396	6	46	698	130	100	1,815	134	122
アメリカ	1988.10	100.0%	3,285	348	210	3,200	260	121	3,393	323	199
中国 (広州)	2008.9	100.0%	1,136	61	3	1,551	62	60	1,392	25	19

<為替レート> 米ドル  
英ポンド  
中国人民元

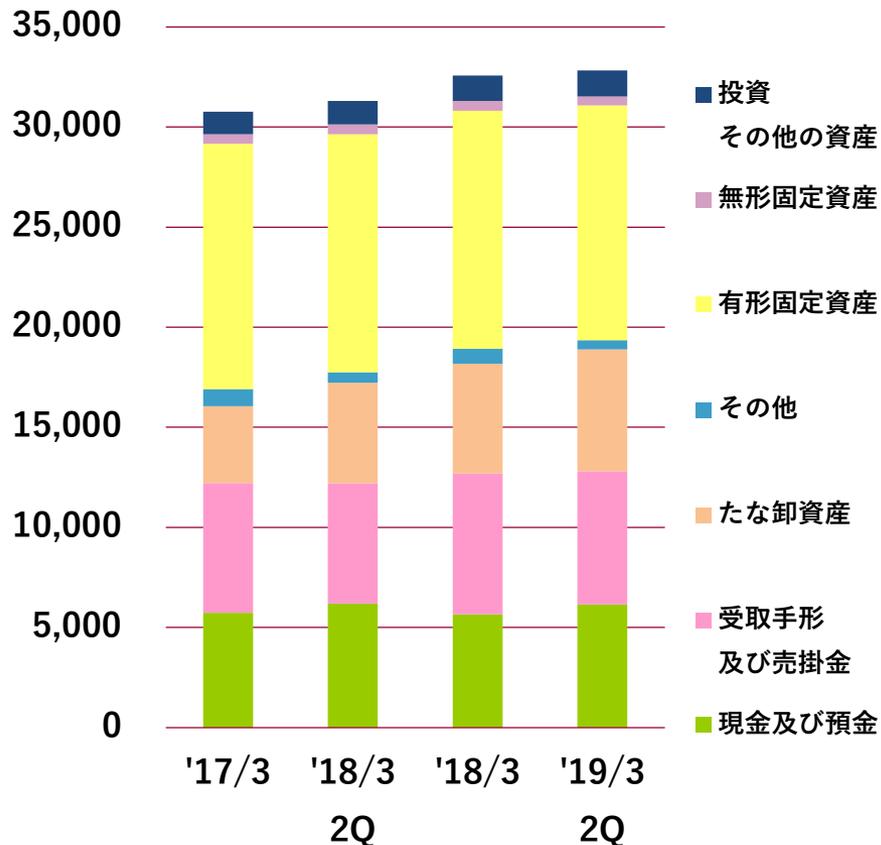
108.38円  
141.60円  
16.11円

110.85円  
147.03円  
16.75円

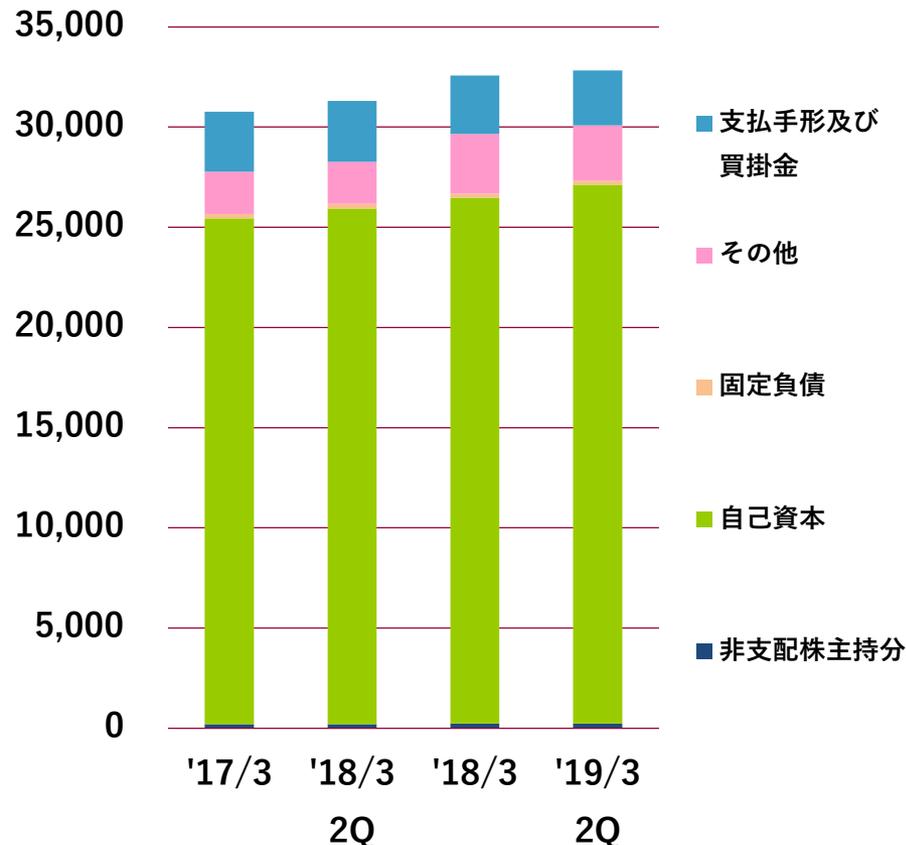
105.00円  
148.00円  
17.00円

# 貸借対照表

◆資産（百万円）



◆負債・純資産（百万円）

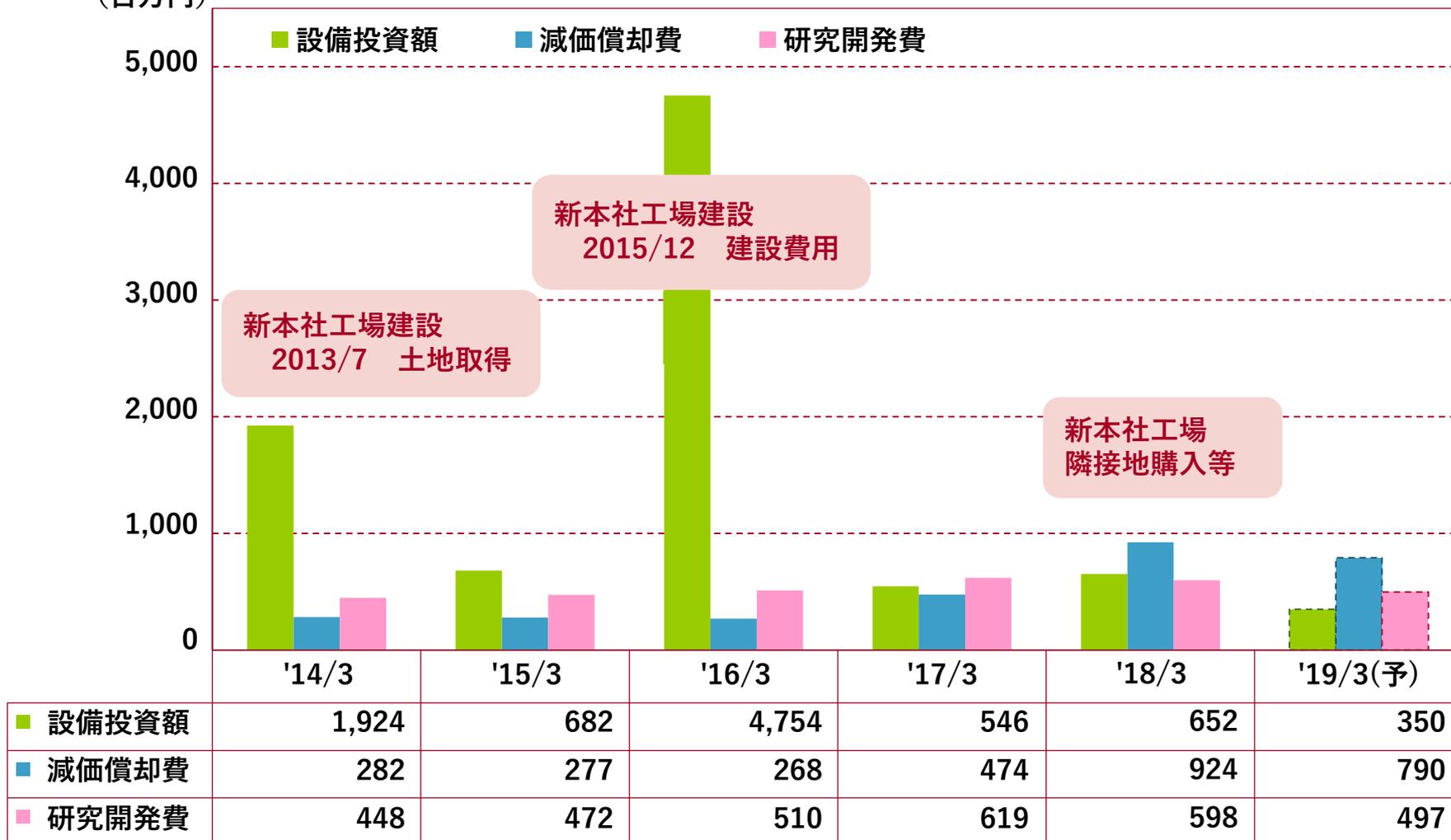


➢ 受注残増によりたな卸資産が増加

➢ 自己資本比率80%以上を継続  
➢ 有利子負債ゼロを継続

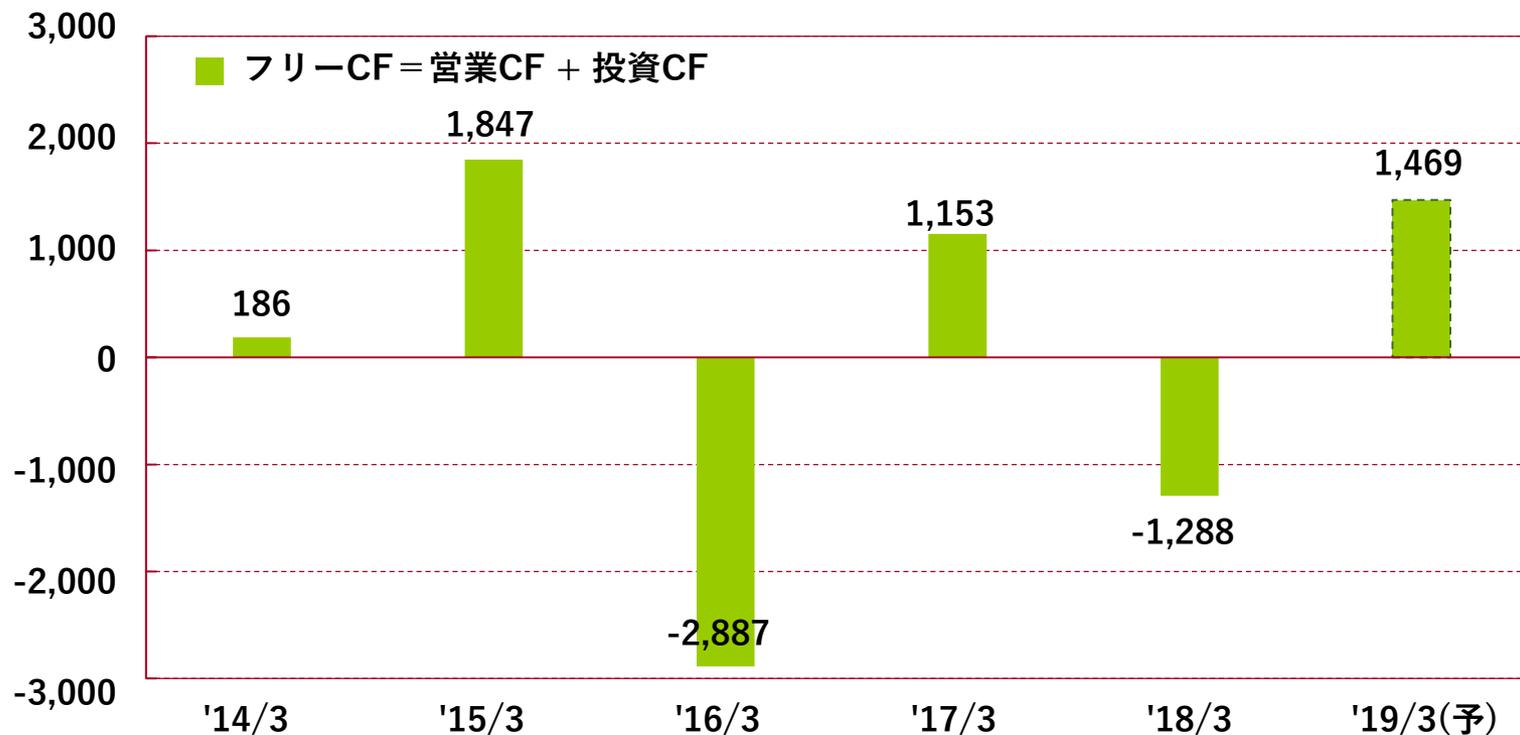
# 設備投資、減価償却費、研究開発費

(百万円)



# キャッシュ・フローの推移

(百万円)



## ◆営業、投資、財務キャッシュ・フローの推移

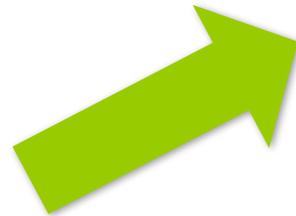
(百万円)

	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3(予)
営業CF	2,575	2,104	2,218	1,626	1,223	2,319
投資CF	△2,389	△256	△5,105	△471	△2,511	△850
財務CF	△569	△560	△677	△678	△659	△587

# 中期経営目標

2018年3月期

- 連結売上高： 208億円
- 連結経常利益： 24億円
- 経常利益率： 11.6%
- 1株当たり利益： 93円  
(1:2分割調整前)  
46円  
(1:2分割調整後)



- 連結売上高： 300億円
- 連結経常利益： 50億円以上
- 経常利益率： 15%以上
- 1株当たり利益： 75円以上  
(1:2分割調整後)

戦略④ 新規事業への積極展開

戦略③ 人材育成

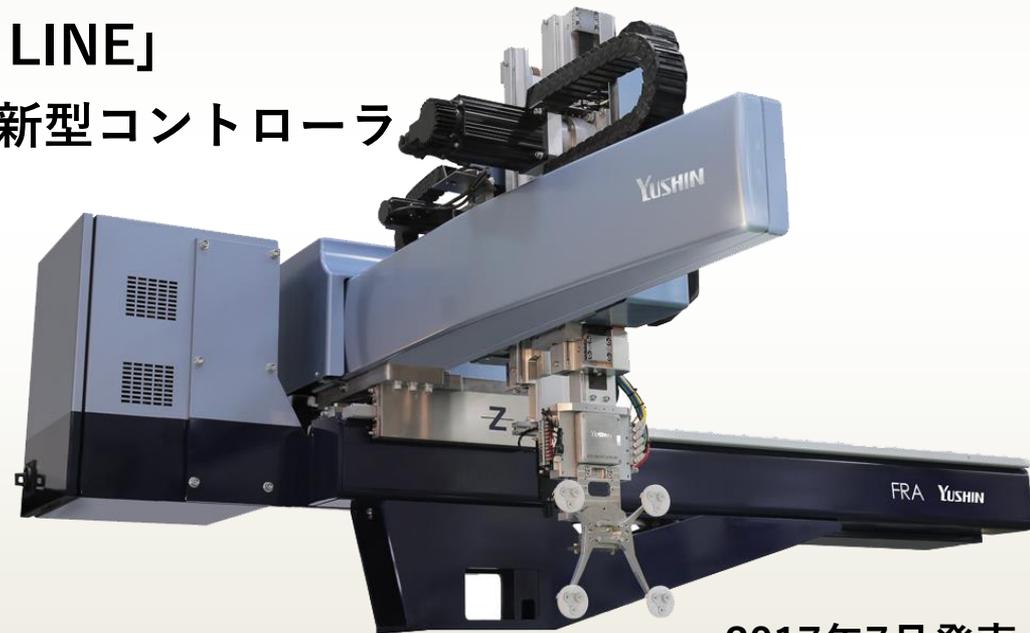
戦略② グローバル展開の更なる強化

戦略① 商品力の強化

# 戦略①：商品力の強化(1)

## 新商品「FRA」シリーズ

- 国際安全規格対応
- アクティブ振動制御機能
- IoTサービス「INTU LINE」
- 人間工学に基づいた新型コントローラ



2017年7月発売

# 戦略①：商品力の強化(2)

## IoTサービス「INTU LINE」が更に進化

- メーカー間の垣根を越えた、工場の「見える化」を実現

<接続協賛企業様>



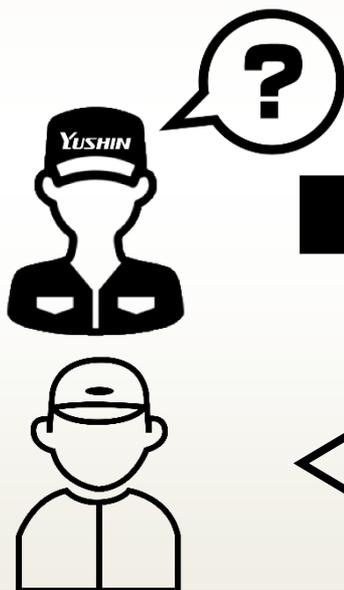
※2018年10月現在の接続実績

# 戦略①：商品力の強化(3)

AI活用によるサービス業務効率化、サービス品質向上

## 【異常の検出】

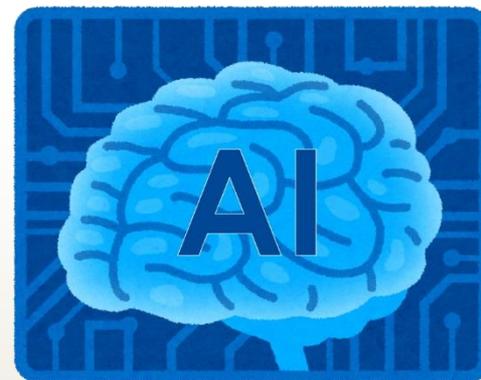
弊社サービス担当が認識できた  
ロボットの異常



トラブル症状

## 【原因の推定】

修理実績データを踏まえて、  
AI(人工知能)が原因を推定



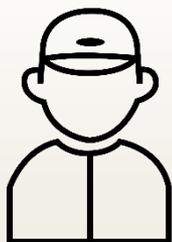
正確で迅速なサービス提供

# 戦略①：商品力の強化(4)

## FRA予知保全（発売予告）

### 【変化の検出】

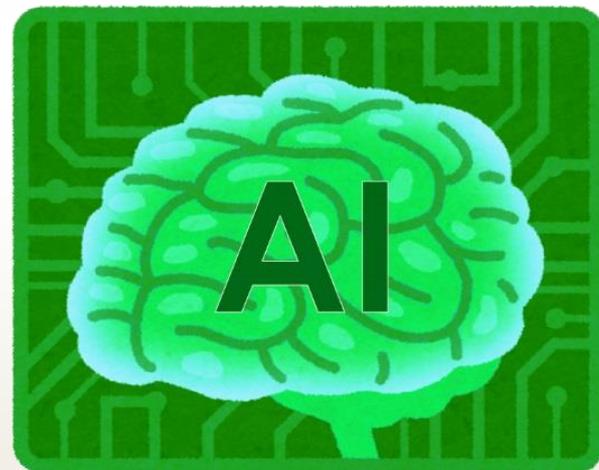
ロボット自身が常に状態の  
変化を検出



検出した情報

### 【予兆の推定】

実績データを踏まえて、  
AI(人工知能)が予兆を推定



予知保全情報

# 戦略①：商品力の強化(5)

## WEBパーツショップ リニューアル

2018年4月～

- 自動設計ツールでユーザの利便性をアップし、パーツ販売を拡大
- 受注から発送までを省人化



## 戦略②：グローバル展開力の更なる強化

- 世界各国のトップクラス企業をターゲットに
- 各国のローカルユーザの更なる獲得
- ユーシンブランド力の向上
- 継続的なグローバル人材の積極採用



## 戦略③：人材育成

- 様々な工場自動化ニーズに対応するSler（システムインテグレータ）の育成
- 各種研修の実施  
上級テクノスクール技術研修、マネジメント研修、海外トレーニー制度
- 女性の積極活用



# ESG

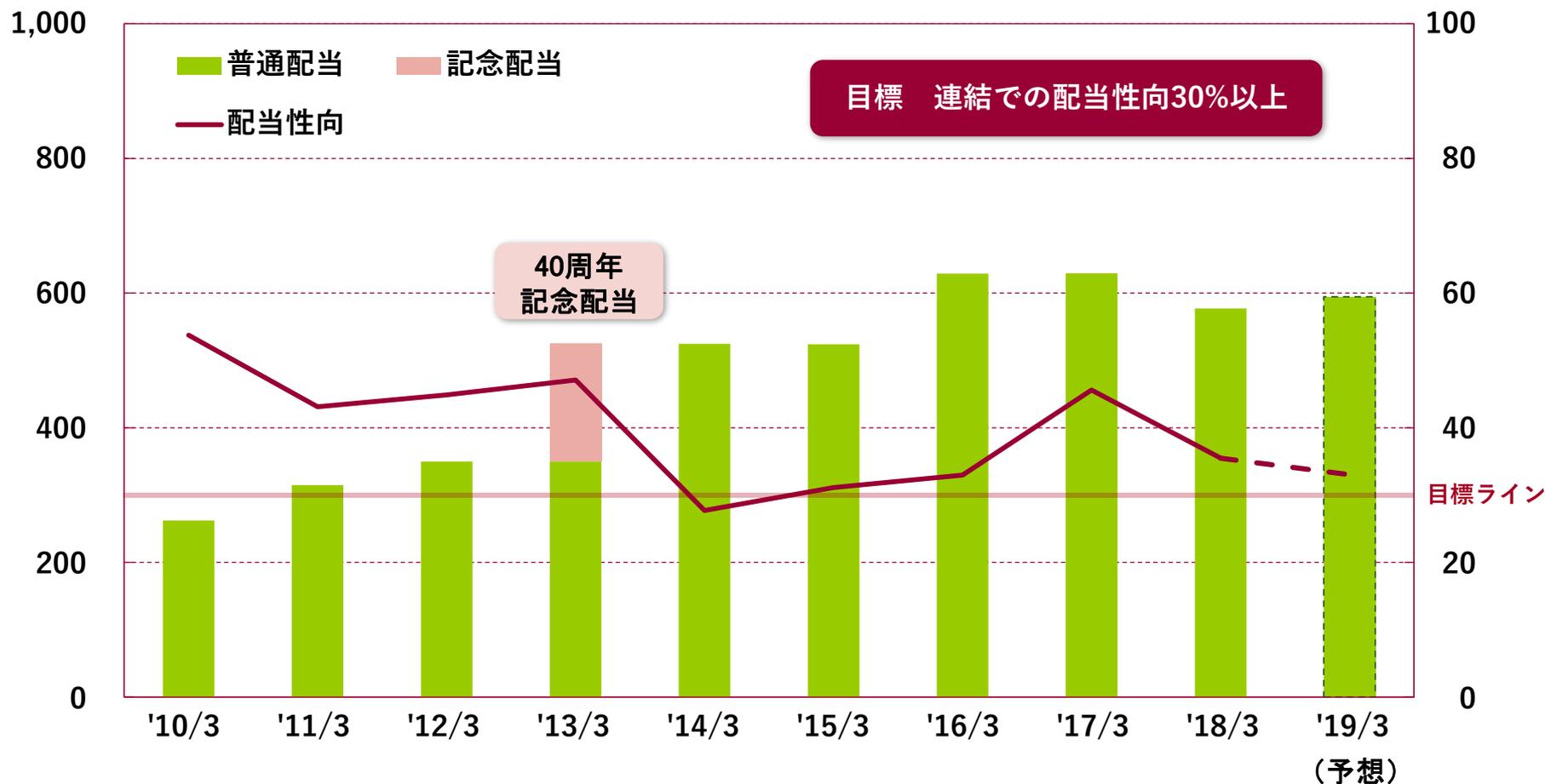
- 省エネ商品の継続的な開発
- 働きやすい環境づくり（働き方支援チーム、法定以上の育休・時短制度）
- 取締役会の進化（社外役員による活性化、実効性評価による改善）



# 株主還元策

(百万円)

(%)



年間配当	15円	18円	20円	30円	30円	30円	36円	36円	33円	17円
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(1:2分割後)

# 株式会社 ユーシン精機

問合せ先：経営企画室

(TEL) 075-933-9555 (E-mail) [irinfo@kyo.ype.co.jp](mailto:irinfo@kyo.ype.co.jp)

[www.ype.co.jp](http://www.ype.co.jp)

---

## 注意事項：

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。

又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

本資料の転載はご遠慮下さい。